|  |
| --- |
| Naruto Translate Ep01 (Parte 01) |
| 1- 〈昔、妖狐ありけり。〉 |
| 2- 〈そのキツネ九つの尾らり〉 |
| 3- 〈その尾、一度振らば山崩れ　津波立つ。〉 |
| 4- 〈これに困じて人ども、忍びのやからを集めけり〉 |
| 5- （忍び１）四代目が来るまで足止めをかけろ！ |
| 6- （忍び２）これ以上一歩も里に近づけるな！ |
| 7- 〈僅かがびの、生死を懸けこれを封印せしめるが、その者　死にけり。〉 |
| 8- 〈その忍びの者、名を・・・と申す〉 |
| 9- こらナルト！ちゅう罰当たりなことをしたんだ！ |
| 10- 今日という今日は絶対許さんぞ！ |
| 11- （ナルト）お前らさ・・・お前らさ、あんなマネできねえだろ？ |
| 12- だけど、俺には出来る俺はすごいんだってばよ！ |
| 13- （忍び）大変です。三代目！ |
| 14- 火影様！ |
| 15- （猿飛）何じゃ？またナルトのヤツが何かしでかしでもしたか？ |
| 16- （忍び）はい。歴代火影様たちの顔岩に・・・ |
| 17- 恐れ多くも落書きを・・・ |
| 18- （忍び）待って！ |
| 19- 訳ないってばよ！ |
| 20- （イルカ）こら　ナルト！ |
| 21- （ナルト）突然何すんだってばよ　イルカ先生？ |
| 22- （イルカ）お前こそ授業にやってんだ？ |
| 23- いいか？ナルト？お前は前回も前々回も　卒業試験に落ちてるんだ。 |
| 24- いたずらしてる場合じゃないだろう。ばか野郎！ |
| 25- 今日の授業は変化の術の復習テストだ！ |
| 26- すでに合格している者も並べ！ |
| 27- （生徒たち）えええ！ |
| 28- 春野サクラ行きます！変化！ |
| 29- よし！ |
| 30- やった！ |
| 31- 《しゃんなろ！》サスケ君、見てくれた？ |
| 32- （イルカ）次！うちはサスケ。 |
| 33- （サスケ）はい。 |
| 34- よし。 |
| 35- （イルカ）次！うずまきナルト。 |
| 36- （シカマル）ったく　しちめんどくせぇ。 |
| 37- （いの）みんな　あんたのせいよ。 |
| 38- 知るかよ。 |
| 39- （ヒナタ）《ナルト君、が・・・がんばって》 |
| 40- 変化！ |
| 41- ッハッハッハ！どうだ？名付けて　おいろけの術。 |
| 42- この大ばか者！くだらん術を作るな！ |
| 43- （ナルト）クソ・・・クッソ！ |
| 44- （イルカ）キレイにするまで家にはさんからな。 |
| 45- （ナルト）別にいいよ！うちに帰ったって　誰もいねえしよ。 |
| 46- ナルト。 |
| 47- 今度は何？ |
| 48- （イルカ）まぁ　だ・・・それ全部キレイにしたら、今度、ラーメンおごってやる。 |
| 49- よし！俺さ　俺さ、頑張っちゃう！ |
| 50- 【参上！うずまきナルト】 |
| 51- （ナルト）ナルト。何で　あんた所に落書きした？ |
| 52- 火影様が　どういう人たちか分かってんだろ。 |
| 53- （ナルト）ったりじゃん。 |
| 54- 要するに　火影の名前を受け継いだ人ってのは。 |
| 55- 里一番の忍者だったってことだろ？ |
| 54- 特に四代目って、里を化けぎつねから守った。 |
| 55- 英雄らしいし。 |
| 56- （イルカ）じゃあ何で？ |
| 57- （ナルト）この俺は　いずれ火影の名を受け継いで |
| 58- んでよ　のどの火影をも超えてやるんだ！ |
| 59- でさ　でさ、里にみんなに俺の力を認めさせてやんだよ。 |
| 60- ところでさ。先生。 |
| 61- お願い　あんだけど。 |
| 62- （イルカ）お代わり？ |
| 63- （ナルト）んにゃ。木の葉の額当てちっと　 　やらして。 |
| 65- （イルカ）あ　これか。ダメダメ。これは学校を卒業して |
| 66- と認められたしだからな。 |
| 67- お前は　あした。 |
| 68- （ナルト）ケチ！ |
| 69- （イルカ）あアハハ・・・だから、ゴーグル外してたな？ |
| 70- （ナルト）お代わり！ |
| 71- （いるか）では　これより卒業試験を始める。 |
| 72- 呼ばれた者は隣の教室に来るように。 |
| 73- なお課題は分身の術とする。 |
| 74- （ナルト）《ガン。よりによって　俺のいちばん苦手な術じゃねえか・・・》 |
| 75- 《でもさ　でもさ、やってやるってばよ！》 |
| 76- 分身の術！ |
| 77- （イルカ）失格！ |
| 78- （ミズキ）イルカ先生。彼は身のこなしやスタミナは優秀ですし |
| 79- これでも、一応分身の術はできてます。 |
| 80- 合格にしてあげても・・・ |
| 81- （イルカ）ミズキ先生。みんな、最低でもには分身してるんです。 |
| 82- でも、ナルトは　たった一人。 |
| 83- しかも、これは足手まといになるだけです。 |
| 84- 合格とは認められません。 |
| 85- （トビオ）前だね　俺。 |
| 86- （トビオの父）よくやった　さすが俺の子だ。 |
| 87- （トビオの母）卒業おめでとう今夜はママごちそう作るわ。 |
| 88- （１）ねぇ。あの子。 |
| 89- （女性２）例の子よ。 |
| 90- （女性１）一人だけ落ちたらしいわ。 |
| 91- （女性２）いいだわ。 |
| 92- （女性１）あんなのが忍びに　なったら大変よ。だって　ホントはあの子・・・ |
| 93- （女性２）ちょっと！それより先は禁句よ。 |
| 94- （猿飛）イルカよ。後で話がある。 |
| 95- （イルカ）はい。 |
| 96- （ミズキ）イルカ先生は決して　意地悪してるわけじゃないよ。 |
| 97- （ナルト）じゃあ、何で俺ばっかり・・・ |
| 98- （ミズキ）ナルト君には　ホントの意味で強くなってほしいって　思てるんだよ。 |
| 99- 親のいない者どうし。 |
| 100- （ナルト）でも・・・卒業したかったんだ。 |
| 101- （ミズキ）仕方がないな。君に　とっておきの秘密を教えよう。 |
| 102- 【イルカよ・・・】 |
| 103 - 【何です？火影様】 |
| 104- 【お前の気持ちも分からんでもない。じゃが、ナルトも同じ。親の愛情を知らずに育ってきたんじゃ】 |
| 105- 【放せ！ちゃんとちゃんが　まだ戦てんだ！】 |
| 106- （ミズキ）イルカ先生！起きてください！ |
| 107- （イルカ）どうしたんです？ |
| 108- （ミズキ）火影様の所へ集まってください。 |
| 109- どうやら、ナルト君が封印の書を持ち出したらしく。 |
| 110- （イルカ）な・・・封印の書ですって！？ |
| 111- （ナルト）えっと　最初の術は　「多重影分身」・・・ |
| 112- 何だよ！いきなり苦手な術かよ。 |
| 113- （ベッコウ）火影様、今度ばかりはいたずらでは済まされません。 |
| 114- （イワナ）封印の書は初代火影様が封印した危険なもの。 |
| 115- 使い方によっては・・・ |
| 116- （ヤジロベエ）もし里の外に持ち出されたら、それこそ一大事。 |
| 117- （猿飛）ナルトを連れ戻すのじゃ。 |
| 118- （イルカ）〈どこへ行った？ナルト？〉 |
| 119- （ミズキ）〈このことを里に言い広め　その後ナルトを始末する。〉 |
| 〈そうすれば封印の書は俺のものだ！〉 |
| 120- （イルカ）こら！ナルト！ |
| 121- （ナルト）見つかっちまったか。 |
| 122- まだ術一個しか覚えてねえのに。 |
| 123- （イルカ）〈ここで術の練習を？こんなに　なるまで・・・〉 |
| 124- （ナルト）あのさ　あのさ！これからすっげぇ術　見せっからさ |
| 124- それできたら、卒業させてくれよな。 |
| 125- この巻物の術を見せれば卒業　間違いねえんだろ？ |
| 126- （イルカ）誰がそんなことを？ |
| 127- （ミズキ）ミズキ先生だってばよ。 |
| 128- 巻物のことも　この場所もミズキ先生が・・・ |
| 129- （イルカ）〈ミズキだと！？〉 |
|  |
|  |